

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 株式会社 東邦システムサイエンス
 コード番号 4333 URL <http://www.tss.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 篠原 誠司
 (氏名) 高橋 誠

TEL 03-3868-6060

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-----|------|-----|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第3四半期 | 6,017 | — | 722 | — | 728 | — | 398 | — |
| 20年3月期第3四半期 | 5,523 | 10.0 | 697 | 3.8 | 703 | 3.9 | 399 | 1.3 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第3四半期 | 65.73 | — |
| 20年3月期第3四半期 | 65.64 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|---|----------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第3四半期 | 5,824 | — | 3,566 | — | 61.2 | — | 584.91 | — |
| 20年3月期 | 5,856 | — | 3,202 | — | 54.7 | — | 535.93 | — |

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 3,566百万円 20年3月期 3,202百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| 20年3月期 | — | — | — | 15.00 | 15.00 |
| 21年3月期 | — | — | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 15.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,050 | 3.8 | 885 | △1.9 | 880 | △3.1 | 482 | △6.2 | 79.33 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第3四半期 | 6,132,996株 | 20年3月期 | 6,132,996株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年3月期第3四半期 | 35,059株 | 20年3月期 | 157,669株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第3四半期 | 6,068,547株 | 20年3月期第3四半期 | 6,087,677株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)」を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、世界的な景気低迷が一層深刻さを増し、一段と減速感が強まりました。円高株安に伴い一段と消費が落ち込み、企業各社の売上不振、業績悪化で事業縮小の動きも拡大し、製造業を中心とした雇用削減による失業者の増加も社会問題化してまいりました。

当社グループの中心的ビジネス領域である金融顧客におきましても、証券業界、銀行業界を中心に国内国外を問わず、グローバルなマーケット低迷により大幅な事業収益の悪化、金融資産の減少が伝えられており、当面の事業環境回復は望めない状況です。

このような中、当社グループでは、従来より生命保険、損害保険業界のシステム開発案件の受託に注力してきており、支払い適正化への対応、次世代システム開発への参画と着実な対応を進めてまいりました。生命保険大手向けのシステム開発も本格化し、また金融ハイテクベンチャーからの受託案件も佳境を迎えました。

また、平成21年1月から開始された株券電子化制度に向けてのシステム対応案件も複数証券会社、銀行からの開発受託が最終局面を迎えました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

| | | |
|--------|----------|--------------|
| 売上高 | 6,017百万円 | (前年同期比8.9%増) |
| 営業利益 | 722百万円 | (前年同期比3.5%増) |
| 経常利益 | 728百万円 | (前年同期比3.5%増) |
| 四半期純利益 | 398百万円 | (前年同期比0.2%減) |

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①ソフトウェア開発

エンドユーザーを業種別にみますと、当社グループの中心的ビジネス領域である金融系業務は4,875百万円(前年同期比19.3%増)となりました。なかでも生命保険系業務は1,620百万円(前年同期比49.6%増)と大幅な伸展を継続し、損害保険系業務は1,056百万円(前年同期比21.7%増)、証券系業務は1,489百万円(前年同期比12.3%増)と堅調に推移しました。一方、通信系業務は390百万円(前年同期比26.9%減)、電力系業務は24百万円(前年同期比81.2%減)と低迷しましたが、金融系業務の売上伸展が牽引したことにより当セグメント全体では5,799百万円(前年同期比9.3%増)となりました。

②情報システムサービス等

主たる業務であるコンピュータ運用管理業務は概ね堅調に推移し、売上高は218百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

また、コンピュータ運用管理業務は、生命保険業界を主なエンドユーザーとしております。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債及び純資産の状況>

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少しておりますが、これは主として投資有価証券が増加したものの、現金及び預金、売掛金の減少があったことによります。また、負債合計は2,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ397百万円減少しております。これは主として、未払法人税等、賞与引当金の減少によるものです。純資産は3,566百万円となり前連結会計年度末に比べ364百万円増加いたしました。これは利益剰余金の増加及び自己株式の処分によるものです。これらの結果自己資本比率は61.2%となり、前連結会計年度末に比べ6.5ポイント増加しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ119百万円減少し、3,612百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、218百万円となりました。これは主な増加要因として、税金等調整前四半期純利益が712百万円、売上債権の減少額が144百万円、主な減少原因として、賞与引当金の減少額が155百万円、法人税等の支払額が462百万円あったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、324百万円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出323百万円があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、13百万円となりました。これは主に自己株式の処分による収入75百万円、配当金の支払額89百万円があったことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月14日発表の平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）業績予想を修正しております。詳細については本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、個別法による原価法から個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,219,290 | 3,390,117 |
| 売掛金 | 969,495 | 1,114,133 |
| 有価証券 | 403,697 | 352,609 |
| 仕掛品 | 44,880 | 8,437 |
| 繰延税金資産 | 77,225 | 216,117 |
| その他 | 79,354 | 66,680 |
| 貸倒引当金 | △2,910 | △3,347 |
| 流動資産合計 | 4,791,033 | 5,144,748 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 29,558 | 34,625 |
| 無形固定資産 | 1,412 | 1,412 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 305,292 | 15,680 |
| 繰延税金資産 | 525,042 | 473,737 |
| その他 | 171,733 | 186,672 |
| 投資その他の資産合計 | 1,002,067 | 676,089 |
| 固定資産合計 | 1,033,038 | 712,128 |
| 資産合計 | 5,824,072 | 5,856,876 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 562,623 | 575,306 |
| 未払金 | 12,920 | 149,931 |
| 未払費用 | 125,175 | 88,764 |
| 未払法人税等 | 1,481 | 244,263 |
| 賞与引当金 | 152,541 | 307,827 |
| 役員賞与引当金 | 25,200 | 43,400 |
| 受注損失引当金 | 5,470 | 15,836 |
| その他 | 131,146 | 80,701 |
| 流動負債合計 | 1,016,558 | 1,506,030 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,183,842 | 1,104,330 |
| 役員退職慰労引当金 | 56,943 | 44,175 |
| 固定負債合計 | 1,240,785 | 1,148,505 |
| 負債合計 | 2,257,344 | 2,654,536 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 376,980 | 376,980 |
| 資本剰余金 | 382,298 | 382,298 |
| 利益剰余金 | 2,856,974 | 2,575,831 |
| 自己株式 | △29,497 | △132,769 |
| 株主資本合計 | 3,586,755 | 3,202,340 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △20,027 | — |
| 評価・換算差額等合計 | △20,027 | — |
| 純資産合計 | 3,566,728 | 3,202,340 |
| 負債純資産合計 | 5,824,072 | 5,856,876 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 6,017,447 |
| 売上原価 | 4,742,817 |
| 売上総利益 | 1,274,629 |
| 販売費及び一般管理費 | 552,520 |
| 営業利益 | 722,109 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,427 |
| 受取配当金 | 1,424 |
| 助成金収入 | 360 |
| 保険返戻金 | 306 |
| 保険事務手数料 | 914 |
| 貸倒引当金戻入額 | 437 |
| その他 | 1,140 |
| 営業外収益合計 | 6,011 |
| 経常利益 | 728,120 |
| 特別損失 | |
| ゴルフ会員権評価損 | 15,338 |
| 特別損失合計 | 15,338 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 712,782 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 212,578 |
| 法人税等調整額 | 101,333 |
| 法人税等合計 | 313,911 |
| 四半期純利益 | 398,871 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|-----------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 712,782 |
| 減価償却費 | 6,116 |
| ゴルフ会員権評価損 | 15,338 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 79,512 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 12,767 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △437 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △155,286 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △18,200 |
| 受注損失引当金の増減額 (△は減少) | △10,366 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,852 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 144,637 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △36,443 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △12,682 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 36,410 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 656 |
| その他 | △93,907 |
| 小計 | 678,047 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,852 |
| 法人税等の支払額 | △462,309 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 218,590 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,049 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △323,384 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △324,433 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 自己株式の処分による収入 | 75,215 |
| 自己株式の取得による支出 | △41 |
| 配当金の支払額 | △89,101 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △13,927 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △119,771 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,732,693 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,612,922 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

ソフトウェア開発の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年6月6日付で、主要取引先である株式会社野村総合研究所を割当先とした第三者割当による自己株式の処分を行い、払い込みを受けました。この結果、利益剰余金が28,098千円、自己株式が103,313千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が2,856,974千円、自己株式が29,497千円となりました。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

| 科 目 | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日) |
|----------------|--|
| | 金 額 |
| I 売上高 | 5,523,425 |
| II 売上原価 | 4,325,678 |
| 売上総利益 | 1,197,746 |
| III 販売費及び一般管理費 | 500,265 |
| 営業利益 | 697,481 |
| IV 営業外収益 | 6,769 |
| V 営業外費用 | 1,011 |
| 経常利益 | 703,238 |
| VI 特別損失 | 94 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 703,144 |
| 税金費用 | 303,564 |
| 四半期純利益 | 399,579 |

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 区 分 | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日) |
|-------------------------|--|
| | 金 額 |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 703,144 |
| 減価償却費 | 6,393 |
| 減損損失 | 94 |
| 退職給付引当金の増減額 (減少：△) | 90,629 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (減少：△) | 9,392 |
| 貸倒引当金の増減額 (減少：△) | △448 |
| 賞与引当金の増減額 (減少：△) | △127,685 |
| 役員賞与引当金の増減額 (減少：△) | △15,200 |
| 受注損失引当金の増減額 (減少：△) | △6,034 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,901 |
| 支払利息 | 40 |
| 固定資産除却損 | 121 |
| 売上債権の増減額 (増加：△) | 149,593 |
| たな卸資産の増減額 (増加：△) | △52,508 |
| 仕入債務の増減額 (減少：△) | 15,535 |
| 未払消費税等の増減額 (減少：△) | △36,720 |
| その他 | △121,671 |
| 小 計 | 611,774 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,901 |
| 利息の支払額 | △21 |
| 法人税等の支払額 | △475,914 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 138,740 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,590 |
| ゴルフ会員権の取得による支出 | △28,409 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △33,000 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △25,044 |
| 自己株式の取得による支出 | △128,613 |
| 配当金の支払額 | △90,968 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △244,626 |
| IV 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△) | △138,886 |
| V 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,330,274 |
| VI 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,191,387 |

6. その他の情報

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 生産高(千円) |
|----------------|-----------|
| ソフトウェア開発 | 1,940,633 |
| 情報システムサービス等 | 72,784 |
| 合計 | 2,013,418 |

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結会計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 受注高(千円) | 受注残高(千円) |
|----------------|-----------|-----------|
| ソフトウェア開発 | 1,543,569 | 1,440,649 |
| 情報システムサービス等 | 247,044 | 254,770 |
| 合計 | 1,790,614 | 1,695,419 |

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 販売高(千円) |
|----------------|-----------|
| ソフトウェア開発 | 1,904,551 |
| 情報システムサービス等 | 72,784 |
| 合計 | 1,977,336 |

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

| 相手先 | 当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日) | |
|----------|---|-------|
| | 金額(千円) | 割合(%) |
| ㈱野村総合研究所 | 730,483 | 36.9 |

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。